



1. 化学品及び会社情報

| | |
|---------------------|---|
| 化学品の名称 (製品名) | CG330Series |
| 毒物情報センターの電話番号 | HP Japan Inc. 5F Ojima2-2-1 Koto-ku Tokyo, Japan 136-8711 0120-50-3024 |
| 電話番号 | (+81) 3 5628-1101 |
| HP Inc. 健康影響行 | |
| 米国内通話料無料 (直通) | 1-800-457-4209 1-760-710-0048 |
| HP Inc. 顧客に対する注意事項行 | |
| 米国内通話料無料 (直通) | 1-800-474-6836 1-208-323-2551 |
| 電子メール | hpcustomer.inquiries@hp.com |
| 推奨用途及び使用上の制限 | |
| 推奨用途 | インクジェット印刷 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|----------|----------------|
| 物理化学的有害性 | GHS分類基準に該当しない。 |
| 健康有害性 | 皮膚感作性 区分1 |
| 環境有害性 | GHS分類基準に該当しない。 |

GHSラベル要素 記号



| | |
|---------|--------------------|
| 注意喚起語 | 警告 |
| 危険有害性情報 | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 |

注意書き

| | |
|------|--|
| 安全対策 | 保護手袋 / 防護衣 / 保護眼鏡を着用すること。ミスト / 蒸気の吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 |
| 応急措置 | 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 |
| 保管 | なし。 |
| 廃棄 | 内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。 |

GHS分類に該当しない他の危険有害性

本製品に関する詳細毒性データなし。

本製品への過剰暴露が起こる潜在的経路は、皮膚または眼による接触である。蒸気の吸入および飲み込みは、通常の使用条件の下では本製品の重大な暴露経路であるとは予想されない。

その他の情報

なし。

3. 組成、成分情報

| | |
|-------------|-----|
| 化学物質・混合物の区別 | 混合物 |
|-------------|-----|

| 成分 | CAS番号 | 官報公示整理番号 | | 含有量 (%) |
|-------------------------------|-----------|----------|----------------------|---------|
| | | 化審法 | 安衛法 | |
| 水 | 7732-18-5 | (9)-447 | | 65-90 |
| ジエチレングリコール | 111-46-6 | (2)-415 | (2)-2979, (2)-415 | <5 |
| 顔料青 | 知的財産権 | 知的財産権 | 知的財産権 | <5 |
| 2,4,7,9-テトラメチル-5-デシン-4,7-ジオール | 126-86-3 | (2)-263 | (2)-263 | <1 |
| 1,2-ベンズイソチアゾール-3-オン | 2634-33-5 | (9)-1845 | (9)-1845 | <0.05 |
| 2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン | 2682-20-4 | (5)-5235 | (5)-5235 | <0.05 |

化学式 H₂O (7732-18-5), C₄H₁₀O₃ (111-46-6), C₄H₁₀O₃ (111-46-6), C₁₄H₂₆O₂ (126-86-3), C₇H₅NOS (2634-33-5), C₇H₅NOS (2634-33-5), C₄H₅NOS (2682-20-4)

組成コメント このインクサプライには、水性インク製剤が含まれている。

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のある場所に移動してください。刺激が残る場合は、医師の手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 接触した部分を石鹸および水で洗うこと。刺激が進行しているか継続している場合には、医師の診断を受けてください。 |
| 目に入った場合 | 目を擦らないこと。直ちに大量のきれいな温水(低水圧)で15分以上または粒子が洗い流されるまで洗浄すること。刺激が残る場合は、医師の手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 大量に摂取した場合は、医師の診断を受けること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|------------------|
| 消火剤 | 粉末、二酸化炭素、水散布、泡消火 |
| 使ってはならない消火剤 | 未知 |
| 特定の消火方法 | 未設定 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 適切な保護具を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 製品を排水溝に流さないでください。表流水や下水道へ流さないこと。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 可能な場合は漏出物をせき止める。乾燥粘土、砂、けいそう土、商業用吸収剤などの不活性吸収剤を使って吸収するか、ポンプを使って回収してください。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-------------------|--|
| 取扱い | |
| 技術的対策(局所排気、全体換気等) | データなし。 |
| 安全取扱注意事項 | 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。 |
| 衛生措置 | 適切な産業衛生および安全に関する規定に従って取扱うこと。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 子供の手の届かない場所に置いてください。過度の加熱あるいは冷却は避けること。 |
| 安全な容器包装材料 | データなし。 |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|---------|------------------------------|
| 職業暴露限度 | 含有成分に関して暴露限界は設定されていない。 |
| 暴露指針 | 本製品に関する許容濃度は定められていない。 |
| 設備対策 | 十分に換気された場所で使用すること。 |
| 保護設備 | |
| 呼吸器の保護具 | データなし。 |
| 手の保護具 | ニトリル製手袋が望ましい。 |
| 衛生措置 | 適切な産業衛生および安全に関する規定に従って取扱うこと。 |
| 保護設備 | |
| 眼の保護具 | データなし。 |

9. 物理的及び化学的性質

外観

| | |
|-----------------|------------------------------------|
| 物理的状態 | 液体。 |
| 色 | 青 |
| 匂い | データなし。 |
| pH | 9 |
| 融点・凝固点 | データなし。 |
| 沸点、初留点、及び沸騰範囲 | データなし。 |
| 引火点 | > 110.0 °C (> 230.0 °F) (クローズドカップ) |
| 燃焼又は爆発範囲 | |
| 燃焼範囲の下限(%) | データなし。 |
| 燃焼範囲の上限(%) | データなし。 |
| 爆発下限界(%) | データなし。 |
| 爆発上限界(%) | データなし。 |
| 蒸気圧 | データなし。 |
| 蒸気密度 | データなし。 |
| 比重 | データなし。 |
| 溶解度 | |
| 水溶性 | データなし。 |
| n-オクタノール / 水分係数 | データなし。 |
| 自然発火温度 (発火点) | データなし。 |
| 分解温度 | データなし。 |
| 粘度 (粘性率) | データなし。 |
| その他の情報 | |
| 酸化性 | 未測定 |
| VOC | < 227 g/l |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---|
| 反応性 | データなし。 |
| 化学安定度 | 推奨する保存条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 未知 |
| 避けるべき条件 | なし。 |
| 混触危険物質 | 強アルカリおよび酸化剤とは配合禁忌。 |
| 危険な分解生成物 | 分解によりこの製品は、酸化窒素、一酸化炭素、二酸化炭素、低分子の炭化水素を発生することがある。 |

11. 有害性情報

急性毒性 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

| 成分 | 種 | 試験結果 |
|---------------------------|--|------------------|
| ジエチレングリコール (CAS 111-46-6) | | |
| 急性 | | |
| 吸い込んだ場合 | | |
| <i>エアゾール</i> | | |
| LC50 | ラット | > 4.6 mg/l, 4 時間 |
| 経口 | | |
| LD50 | ラット | 12570 mg/kg |
| 経皮 | | |
| LD50 | ウサギ | 11890 mg/kg |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | ウサギにおいて非刺激性(OECD 404) 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 | |

| | |
|-------------------|----------------------------|
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 呼吸器または皮膚感作性 | |
| 呼吸器感作性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 皮膚感作性 | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 |
| 生殖細胞変異原性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 発癌性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 生殖毒性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露) | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 特定標的臓器毒性 (反復暴露) | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。 |
| その他の情報 | 本製品に関する詳細毒性データなし。 |

12. 環境影響情報

生態毒性データ

| 製品 | 種 | 試験結果 |
|-------------|------|--|
| CG330Series | | |
| 水生 | | |
| 急性 | | |
| 魚類 | LC50 | ファットヘッドミノー (Pimephales promelas) > 750 mg/l, 96 時間 |
| 生態毒性 | | データなし。 |
| 残留性/分解性 | | データなし。 |
| 生体蓄積性 | | データなし。 |
| 土壌中の移動性 | | データなし。 |
| オゾン層への有害性 | | データなし。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|---------|--|
| 地域の廃棄規制 | 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。廃棄物は地方自治体、州、連邦政府及びカナダの州の環境法令に従って廃棄してください。HP Planet Partners (trademark) では、HP 製 Inkjet および LaserJet 関連製品などを簡単にリサイクルできるようにするリサイクルプログラムを提供しています。本サービスの詳細およびお客様のお住まいの地域で本サービスをご利用になれるかどうかについては、 http://www.hp.com/recycle を参照してください。 |
|---------|--|

14. 輸送上の注意

| | |
|----------------|--------|
| DOT | |
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |
| IATA | |
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 環境有害性 | いいえ。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |
| IMDG | |
| 国連番号 | データなし。 |

| | |
|----------------|--------|
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 輸送危険有害性クラス | |
| 海洋汚染物質 | いいえ。 |
| EmS | データなし。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |

ADR

| | |
|----------------|--------|
| 国連番号 | データなし。 |
| UN正式輸送品目名 | 該当せず |
| 輸送危険有害性クラス | |
| クラス(Class) | データなし。 |
| 副次危険性 | - |
| 有害No.(ADR) | データなし。 |
| トンネル規制コード | データなし。 |
| パッキンググループ | データなし。 |
| 環境有害性 | いいえ。 |
| 使用者のための特別な予防措置 | データなし。 |

詳細情報

米国 DOT、IATA、ADR、IMDG、RID では、危険物として規定されていません。

大量輸送の場合は、MARPOL 73/78 附属書 II および次の IBC コードに準拠: 該当なし。

15. 規制情報

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

| | |
|------------|--|
| 消防法 | 消防法の危険物に該当しない。 |
| 船舶安全法・危規則 | 該当せず。 |
| 航空法・施行規則 | 該当せず。 |
| 火薬類取締法 | |
| 該当せず。 | |
| 海洋汚染防止法 | |
| 水 | 海洋環境の保全の見地から有害でない物質 |
| ジエチレングリコール | Z類 |
| 規制情報 | このHP 製品に含まれるすべての化学物質は、以下の国々における化学物質管理法の下で審査を受けたか、または通知を免除される：米国 (TSCA)、EU (EINECS/ELINCS)、スイス、カナダ (DSL/NDSL)、オーストラリア、日本、フィリピン、韓国、ニュージーランドおよび中国 |

16. その他の情報

この安全性データシートは、HP純正のインク(トナー) サプライ品で提供されるHPインク(トナー)に関する情報を通知するために作成されています。当社の安全性データシートが、再充填品、再製造品、互換製品、その他のHP純正でないサプライ品に同梱されている場合、本書の情報は、そのような製品に関する情報を伝えるためのものではなく、本書の情報と購入された製品に関する情報には大きな差異があることにご注意ください。個人用保護具、曝露リスク、安全な取り扱いに関するガイダンスなどの該当する情報については、再充填品、再製造品、互換サプライ品の販売者にお問い合わせください。HPは、当社のリサイクルプログラムにおいて、再充填品、再製造品、互換サプライ品を受け入れません。この安全データシートのドキュメントはHPの顧客に無料で提供されています。データは、このドキュメントが作成された時点でHPが知りうる中で最新のものであり、かつ正確なものであると考えられています。これは製品の特定のプロパティを保証するものとして受け取られるべきでなく、また特定の用途に適していると受け取られるべきでもありません。このドキュメントは、上記セクション1で指定された司法管轄権の要件に対して作成されたものであり、他の国々における規制上の要件を満たしているわけではありません。

改訂情報 3. 組成、成分情報：開示設定の上書き

略語の説明

| | |
|-----------|--|
| ACGIH | 米国産業衛生専門家会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists) |
| CAS | ケミカル・ アブストラクト・ サービス |
| CERCLA | 包括的環境対応補償責任法 |
| CFR | 連邦規制基準 |
| COC | クリーブランド開放式 |
| DOT | (米)運輸省、DOT |
| EPCRA | 緊急計画・地域社会の知る権利法 |
| IARC | 国際がん研究機関 |
| NIOSH | 国立労働安全衛生研究所 |
| NTP | 国家毒性プログラム |
| OSHA | 労働安全衛生局 |
| PEL | 許容曝露限界 |
| RCRA | 米)資源保護回収法 |
| REC | 推奨 |
| REL | 推奨曝露限界 |
| SARA | スーパーファンド改正・再承認法 |
| STEL | 短期曝露限界 |
| TCLP: <値> | 有害物質の溶出毒性試験法 |
| 管理濃度 | しきい値限界値 |
| TSCA | 有害物質規制法 |
| VOC | 揮発性有機化合物 |